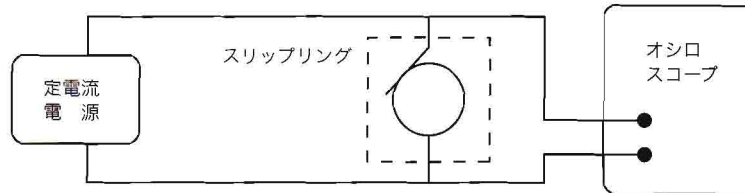


## 用語解説

### 接触抵抗値

回転軸制止時のリングとブラシの接触抵抗値をいいます。  
 (SPM シリーズでは、初期状態にて数 mΩ 前後です。)  
 回転時のリングとブラシとの接触抵抗変化量の最大値 (以下『ピークノイズ』と呼ぶ)  
 は、下図の回路で測定する。尚、回転数は  $4 \pm 1 \text{min}(\text{rpm})$  ・電流は 10mA です。



### 絶縁抵抗・絶対耐力

固定ケースと端子間を測定する。

### 許容回転数

ピークノイズが初期で 0.1 Ω 以下を満足する回転軸回転速度の最大値をいいます。

### 回転寿命

回転軸を  $40 \pm 5 \text{min}^{-1}(\text{rpm})$  で連続回転させた時、ピークノイズが 0.1 Ω を越えるまでの総回転数をいいます。

### 環境条件

下記の条件にて、機械的損傷のないこと、また、ピークノイズが 0.1 Ω 以下であることを確認します。

項目	試験条件
高周波振動	MIL-STD-202-204, 10 ~ 2,000Hz 15G 20分往復, X・Y・Z方向各12サイクル 計36サイクル
衝撃	MIL-STD-202-213, 30G, 11msec
耐湿	MIL-STD-202-106, 90% RH 120H
温度サイクル	MIL-STD-202-102, -30°C ~ 25°C ~ 80°C ~ 25°C 5サイクル
低温放置	-30°C, 24H
高温放置	80°C, 1000H